

やまがた社会貢献 基金を活用して実施した助成事業の紹介

■ 団体支援助成事業

1 THEモンテロード・プロジェクト2014

事業実施団体 きらりロードの会（山形市）

事業内容

NDソフトスタジアムに通じる道路を「モンテロード」と名づけ、道路沿いの花壇に四季折々の花を植え、山形らしいきれいな道路を築きあげる活動を平成22年度から行っています。



「モンテディオ山形」の選手たちからも参加していただき、活動の輪が広がっています。

2 里山整備・資源活用・体験学習で地域振興支援活動

事業実施団体 認定NPO法人ひらた里山の会（酒田市）

事業内容

美しい里山の荒廃化が進む中、美しい景観や健康づくりを求めトレッキングをする人が増加しています。

これらを後押しする当法人では、草刈り整備の継続とインストラクターを養成し、子どもたちの自然体験学習を支援しています。



「2014年やまがた公益大賞」が決定！

公益活動をより活性化していくため、平成19年度から優れた公益活動を「やまがた公益大賞」として顕彰しています。まちづくりや福祉、被災地復興支援など、さまざまな地域課題の解決に取り組む団体の中から、5団体が「やまがた公益大賞」に輝きました。受賞団体には、表彰状と盾が贈られます。

◆やまがた公益大賞グランプリ◆

グループ農夫の会（山形市）

「山形県山辺町『大蕨棚田』の元気再生」

日本の棚田百選に認定された山辺町「大蕨棚田」の再生と存続を目的に、モンテディオ山形と協力し、棚田米の生産・販売やイベントの開催などを通し、棚田の再生、地域の活性化を図っています。



◆やまがた公益大賞◆

（特活）おぐにスポーツクラブYui（小国町）

「地域に根差したクラブの取り組み」

高齢者の運動習慣や介護予防を推進するためのスポーツ出前教室とYuiキッズクラブスポーツ少年団（多種目体験型）の活動を通し、高齢者の健康維持や子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツに参加する機会を提供しています。

（特活）山形自立支援創造事業舎（山形市）

「知的障がいを持つ人の社会参加型就労支援」

知的障がいを持つ人の就労・社会参加を目的として、移動販売車による山形名物「玉こんにゃく」や玉こんにゃくと煮卵を交互に刺したオリジナル商品「玉ゴン」の販売のほか、農作物の栽培・販売も行っています。

（特活）山形移動サポートセンター（山形市）

「山形県で最初の福祉有償運送の活動」

腎臓透析患者の送迎を目的として平成14年に活動を開始し、現在は高齢者や障がい児等の送迎も行っています。送迎を支援する運転ボランティアは企業等退職者が担っており、高齢者の生きがい創出・社会参加の場にもなっています。

やまがた絆の架け橋ネットワーク（山形市）

「東日本大震災発生に伴う避難者支援事業」

東日本大震災の被災者・被災地支援活動を行っていた複数の団体が「やまがた絆の架け橋ネットワーク」を立ち上げ、各種情報を共有しながら連携・協力し、被災地で暮らす親子を山形県に招き、さくらんぼ狩りやいも煮などを楽しむツアーを行っています。